

理科総合B レポート No. 3

1. の a

世界の最高峰・・・海拔 8, 848 m

最深部・・・水深10, 920 m

計 19, 768 m \div 20, 000 m = 20 km

地球の半径 約6, 400 km

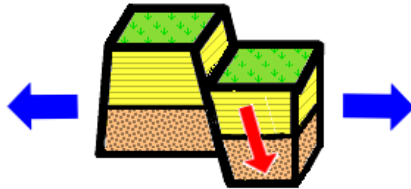
何%に当たるか計算しましょう。

2.

断層の種類・・・教科書P.64の 図19の解説

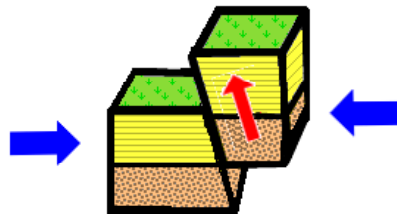
断層は大きく「正断層」「逆断層」「横ずれ断層」の3種類に分けられます。

正断層



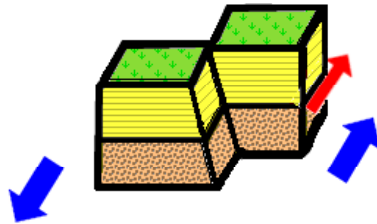
大地に両方から引っぱられる力が加わり、右側が下がったもの。
(上盤がずり落ちた場合)

逆断層



大地に両方から押される力が加わり、右側が押し上がったもの。
(上盤がはい上がった場合)

横ずれ断層



横向き力が加わりずれたもの

3. の地形

砂州：砂州（さす）は、湾の入り口（湾口）にできた 砂嘴が発達し、対岸またはその付近までに至った地形。沿岸流により運ばれた砂や礫が堆積してつくられる。天橋立（京都）も砂州。

砂嘴：砂嘴（さし）とは、沿岸流により運ばれた砂が堆積してできる、嘴（くちばし）形の地形。砂嘴が発達することで対岸またはその付近までに至ると、砂州と呼ばれる。

砂嘴（野付半島/北海道）



三日月湖：蛇行する河川が長期の浸食などの影響により河道を変えたとき、旧河道が取り残されて湖となったものである。

氾濫原の中を蛇行する河川は、わずかな地層や地形の変化でいくつかのカーブを作り出す。カーブの外側では侵食、内側では堆積が行われ、カーブは少しずつ大きなものとなり、やがてカーブ同士が接合する。その際に河川から切り離された部分が湖となり、多くの場合、三日月形をしているために三日月湖と呼ばれる。



三日月湖（阿武隈川）

☆参考☆

水の三作用

水のはたらきには①侵食 ②運搬 ③堆積の3つの作用がある。侵食作用はおもに上流や傾斜の多い地域、堆積作用はおもに河口や傾斜の少ない地域によく見られる。

4. のヒント

プレートの境界の種類

プレートの境界には、①広がる境界、②狭まる境界、③すれ違う境界の3種類があります。

広がる境界は、プレートが生産されて両側へ広がっていくという生産および発散の境界で、マグマの上昇により海嶺がつくられています。あまり強くない地震が海嶺の中央部で発生します。

狭まる境界は、向き合って進行してくるプレートが接触するところで、一方が他方の下に沈み込んでいく沈み込み境界と、まともにぶつかって重なり合う衝突境界とがあります。沈み込みは海溝を、衝突は大褶曲山脈をつくります。狭まる境界では強大な圧縮力が働いて、強い地震が頻繁に発生します。

すれ違う境界は、水平移動するプレートが側面で接して横にずれ合うところで、ずれの力が地震を起こします。

